

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

北島中学校
「学力向上実行プラン」

○わかりやすい発問により、生徒の思考を深める授業の実践

○認め合い、話し合い、学び合う授業の実践

学力向上推進員
村岡紀子
阿部佐知子
齋藤裕恵

委員
校長：松本 賢一
教頭：松本 広子 佐坂 千絵
教務主任：近藤 勝重
学年主任：三橋 延世 北原篤こ 小川 清晴

校長

松本 賢一

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】
管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各教科、基礎的・基本的な知識・技能を問われる課題に対して、意欲的に取り組めている生徒が多い。 ●学習した知識や技能を、他の教科等の学習で活用したり関連づけたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な事項について繰り返し根気強く学習し、知識・技能を確実に身に付け、定着させることができる。 ・学習を通して習得した知識や技能を、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・授業始めに学習課題やめあてを確認し、本時の概要や流れを理解させる。授業終わりに学習内容の振り返りの時間をもつ。 ・生徒が興味をもって学習に取り組むことができるよう発問を工夫する。 ・学習内容に応じて、基礎的・基本的な内容の小テストを実施し、知識・技能を確実に習得させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習を通して習得した知識や技能を活用して、課題を解決しようとする意欲のある生徒が多い。 ●根拠や理由を考えて判断したり、考えや思いを自分の言葉で表現したりすることに課題がある。	・自分の意見と他者の意見を相互に関連付けながら、目的や条件に応じてわかりやすく相手に伝えることができる。 ・課題解決のために、資料や情報を効果的に活用したり、根拠や理由を明確に表現したりすることができる。	・学習活動の中で、ペアやグループでの活動を活用し、教え合ったり自分の考えや思いを表現・共有したりする場面を設定する。 ・自分の考えや思いを相手にわかりやすく伝えるための表現方法として、ホワイトボードやICTを活用した発表や話し合い活動を設ける。 ・朝の読書週間の時間を充実させ、読書活動に親しませる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習のめあてを理解し、目標をもって学習し、積極的に自らの考えを述べる生徒が多い。 ●家庭学習の習慣が十分に定着していない生徒もいる。不得意な教科や苦手な問題に、根気強く取り組む態度の育成が課題である。	・目標をもち、それを実現するために、最後まで根気強く主体的に学習に取り組むことができる。 ・自分なりの学習方法を習得し、家庭学習に見通しをもって意欲的に取り組むことができる。	・落ち着いた態度で学習に取り組むことができるよう、2分前入室・1分前着席とチャイムスタートを徹底させる。 ・集中して授業に取りかかれるよう、「忘れ物をしない、させない、許さない」意識をもたせる。 ・生徒自らが作成した学習計画をもとに、学習課題を計画的に、粘り強く、取り組むことを習慣づけさせる。			

